

安全データシート

改訂日:2023年4月21日

1. 製品及び会社情報

製品名	酒石酸ナトリウムカリウム四水和物
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CB1905

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類の基準に該当しない。
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	—
注意喚起語	—
危険有害性情報	—
GHS分類に該当しない他の危険有害性	有害性はほとんどないが、高濃度で粘膜に触れると刺激性がある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	(+)-酒石酸ナトリウムカリウム四水和物
別名	ロッセル塩、セニエツ塩
化学式又は構造式	$C_4H_4KNaO_6 \cdot 4H_2O$
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 6381-59-5
成分及び含有量	酒石酸ナトリウムカリウム四水和物 98.5%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(9)-530
その他	HSコード: 2918.13

4. 応急措置

吸入した場合	吸入した場合、新鮮な空気のある場所に写し、安静に努める。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水で洗い流したあと、石鹼を用いて十分に洗浄する。痛み、違和感を感じる場合、直ちに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	速やかに正常な水で、最低15分間洗浄を行い、痛み、違和感がある場合、直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口の中を洗浄後、多量の水を飲ませて吐かせ、異常があれば直ちに医師の手当てを受ける。 医師の手当て、診断を受けること。
応急処置をするものの保護	救助者は状況に応じ適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災に適した消火剤を用いる。 水噴霧、アルコール消火剤、二酸化炭素、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。 消火活動は風上から行き、有毒なガスの吸入を避ける。 状況に応じて、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業の際は適切な保護具を着用し、風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。 粉じんの立たない方法でできるだけ掃き集め、空容器に回収し、多量の水で洗い流す。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	吸いこんだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用す
接触回避	酸化剤、引火性の液体、自然発火性物質、自己反応性物質等
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。
容器包装材料	ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	未設定
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場の近くに手洗い場を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶又は結晶性粉末
色	無色又は白色
臭い	無臭
融点/凝固点	70～80℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
燃焼性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	220℃
pH	7.0～8.5(20℃, 50g/L)
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	47.5g/100g(6℃, 水)、63g/100g(20℃, 水) 水に溶けやすく、エタノールにはほとんど溶けない。
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.77
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	空気中で強熱すると、炭化又は燃焼する。酸と反応して、難溶の塩を作る。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸化剤、引火性の液体、自然発火性物質、自己反応性物質等
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	有害性はほとんどないが、高濃度で粘膜に触れると刺激性がある、目や皮膚についた場合、正常な水で十分洗う。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: (急性) 高い生分解性 長期: (慢性) 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際して容器の漏れがないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
国内規制がある場合の規制情報	

陸上輸送
海上輸送
航空輸送
応急措置指針番号

消防法の規定に従う。
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき有害物 [施行令別表9]に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
17423の化学商品(化学工業日報社)
GESTIS Substance Database

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。